



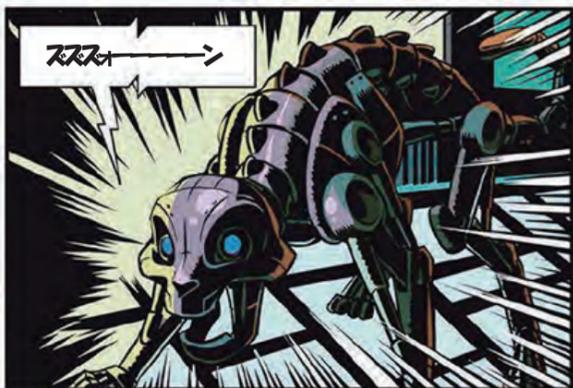
数年前、ぼくはペドロ・ソットに何度か会った。あるときペドロはぼくにニーナという製作途中のマンガのプロジェクを見せてくれた。ペドロは、物語の中身について多くを語らなかつたし、ページ数もわずかしかなかったが、マンガのクオリティは素晴らしかった。繊細であると同時にディテールに富み、表情豊かでかわいらしいキャラクターたち。ぼくは、いつマンガを世に出すつもりなのか尋ねた。その完成がとても楽しみだったからだ。すると、他の優れたマンガ家たちのように、彼の答えは「いま作っている」というものや「いつか出版できたらというものだった。ペドロがニーナの制作を終え、ぼくのマンガに対する評価は一層増した。洗練された、確かな技術に加え、ぼくが愛するヨーロッパのスタイルにも似ていて、なおかつストーリーは魅力的だ。主人公の女の子つまりネスミに恋をせずにまたおとぎ話のような物語のプロットにのめり込まずにはいられない。優れた味覚を持つシェフが、丁寧につくったおいしい料理だ。」

ヒロ・カフハラ
イラストレーター・漫画家



第1巻
ネスミはネスミのネコ
ペドロ・ソット





ビーッ、ビーッ、ビーッ







悔い改めよ!
諸君、この世の終わりが近づいているのだ!

そうね、そのとおりね...
とても興味深いわ、老師。



さあ、そこをどきなさい!
あの倒れた塔を見た?
がれきの撤去にショベルカーが必要よ...
この俗人め!
おまえは、見なかったのか?
発電所を、電車の駅を
そして、今度は科学省の本部...
激しい怒りが終わりの予兆なのだ!
この街は、まもなく巨大な魚に飲み込まれる!



魚?どんな魚なのですか、老師?
無知な者よ、我々は魚の腹の中にいるのだ。そして、ある日、我々はみな飲み込まれるのだ!



では、その魚は、何の中にあるのですか?
巨大なカタツムリ中にある。
では、カタツムリは?
巨大なゴキブリの中だ!
巨大なノミの中だ!



ううん、違うよ。ゴキブリなんかいないの!



地上に行ったら、あなたたちの街は、島の下に埋められていることがわかるわ!
は! いったい地上からきたお嬢様...はどこにあるのだ。
大きな海の真ん中にあるの。大きな湖よ。
果てしなく、大きな湖よ。
なに? おまえは...?



その島はどこにあるのだ。
その海というのはどこにあるんだ?



ああ、もう! 惑星だよ、巨大な土のボール!
で、惑星は?
カシウダ、この娘は、あの老人よりおもしろいな!



太陽の周りを回っているの。
太陽は、火のついたボールよ!
で、太陽は?



で、天の川は?
そうね。天の川は宇宙というところにあつて、それは常に膨らみ...
警察だ!

